

紹介時でのご提出は不要です。

当院担当医より病理検体作成のご依頼をさせていただきます。

病理検体作製依頼文書

検査用病理検体の状態について、当院病理部で確認させていただきます。
検体作製については以下にお示しします。

【以下をご準備していただき、当院担当医師宛にご郵送ください】

1) 「未染色 FFPE 薄切 10 枚と HE 染色標本 2 枚」

＊症例によっては追加で薄切をご依頼する場合がございます

＊パラフィンブロック検体の場合「標準サイズ」のブロックをお送りください

2) 「病理診断結果報告書(書式自由)」

3) 「病理ワークシート」(当院所定書式)

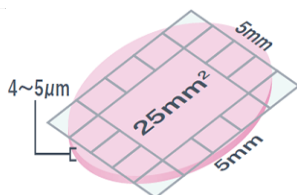
○FFPE 検体作製の注意点 (検体条件等)

- ・特に重要なこととして、既存検体の状態が悪い場合 (例えば以下検体条件を満たさない場合)、新たに検体を採取し、ゲノム解析に適する検体を作製してください。
- ・**3 年以内に採取した検体**を使用してください。
- ・**有核腫瘍細胞含有率が 20%以上**であること (満たない場合は検査適応外です)。
- ・固定には、**10%中性緩衝ホルマリン溶液**を用いてください。
(上記以外の固定剤は用いないでください)
- ・6~72 時間の範囲で各臓器を適切に浸漬固定してください。
- ・**酸脱灰操作は行わないでください。脱灰が必要な場合は、EDTA を主成分とする中性脱灰液を使用**してください。
- ・過去に受けた放射線治療の照射範囲に含まれていない組織を使用してください(必要な場合を除く)。
- ・**作製過程で切片を加熱乾燥しない**でください。
- ・**作製過程で他の検体 DNA 混入など無いよう、コンタミネーションに十分気をつけて作製**してください。

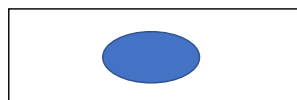
○未染色スライドの作製方法

切片の厚さ：4~5 μ m、切片表面の面積：25 mm²以上 (下の図参照)

- ・表面積 25 mm²以上の場合：**厚さ 4~5 μ mの組織切片を 10 枚作製**してください。
- ・表面積 25 mm²未満の場合：切片の合計体積が 1 mm³以上になるように、厚さ 4~5 μ mの切片の枚数を追加してください。
- ・未染色スライドは**正電荷スライドガラス (剥離防止コーティングガラス)**を用い、**伸展・乾燥のための加熱は避け、常温で管理**してください。
- ・**1 枚のスライドには、1 つの切片のみ**とし、全て同一のブロックから薄切してください。



○適切なスライド



×不適切なスライド

